

地図ベース大規模飼料生産管理支援システム

コントラクタ等の飼料生産組織では多数の圃場が広域に分散する傾向にあり、作業計画の策定や作業進行管理に支障をきたすケースが多くなっています。そこで都府県で展開する大規模飼料生産組織（面積：約 130ha、筆数：約 400 筆、範囲：8km 四方）を対象事例に、分散多筆圃場群における飼料生産活動を地図上で簡易に管理できる生産管理支援システムを開発しました。

☆ 技術の概要

1. 画面上で地図を操作しながら圃場情報の入出力・表示、作付計画の策定、各種作業計画の策定、作業者への指示書作成、作業履歴の入出力、出役日当計算、借地料計算等を行えます。管理作業のほとんどをマウス操作で行うことができます。
2. 対象作業者の担当圃場を抽出・表示・レイアウトした地図ベースの作業指示書を簡易に作成できます。同時に対象となる圃場の基本情報一覧を Excel に出力できます。
3. オペレータの日当や借地の地代集計等については入力フォーム上で項目等を選択し実行ボタンをクリックすることで、Excel のワークシート上に結果が出力されます。
4. ベースになっている地図ソフト（ESRI 社 ArcGIS）で作動するその他ツールと併用することが可能で、基本機能と組み合わせることで柔軟性・拡張性に富んでいます。



図 システムの利用イメージ

☆ 活用面での留意点

1. 本システムを利用するには ESRI 社 ArcGIS および Microsoft 社 Excel が必要となります
2. システムの詳細については下記をご参照ください。

http://cse.naro.affrc.go.jp/kazushin/ArcGIS_FeedProduction/index.html

(中央農業総合研究センター 主任研究員 西村 和志)